窓口支援事例　【INPIT 大阪府知財総合支援窓口】 平成 30 年度版

企業情報

タナベウィルテック株式会社

所在地	大阪府大阪市		
ホームページ URL	http://tanabewilltec.co.jp/		
設立年	1947 年	業　種	製造業
従業員数	180 人	資本金	１億円

企業概要

当社は、遠心分離機のパイオニアメーカーとして創業しました。社名に冠するウィルテックとは、「強い意志・意欲を未来にもちつづけるという意味の WILL」「技術（Technology）を表す TEC」の合成語“WILLTEC”を表しています。時の流れとともに、機械の需要先も“繊維業界主体から化学薬品業界主体へ”“大量生産主体から高付加価値/高機能製品へ”と大きく変化しています。それに伴い、ろ過/沈降/乾燥の基本原理こそ変わりませんが、制御技術の向上・機械の大型化への対応・GMP への対応・使用材料の変化・要素技術の向上などで、長年にわたり技術力に磨きをかけてきました。お客様に満足していただけることが私達の願いです。



タナベウィルテック株式会社
「視線はいつも未来です。」

自社の強み

「固液分離」と「乾燥」というプロセスは、さまざまな業種で使われており、化学品、医薬品、食品など幅広い分野に関係します。遠心分離機は縦型、横型があり、分離方式はろ過と沈降に大別されます。当社は、全ての方式を手掛ける「遠心分離機の総合メーカー」です。また、加圧ろ過と乾燥機能を複合した多機能型ろ過乾燥機は、医薬品分野などを中心にご愛顧していただいています。引合いがあるとまず処理物の性状をチェックしてテスト機でサンプルテストを繰返し行い、仕様を決定してお客様の要望する性能と品質を提供します。導入前の技術相談を含めた総合力が最大の強みです。製品の信頼性だけでなく、充実したサービス体制がお客様の信頼を更に高めています。



一押し商品

当社の新製品「超臨界スプレードライヤ」は、超臨界状態の二酸化炭素を噴霧媒体として圧力と温度を精密に制御することにより、溶液または融液などから微粒子を創製することができます。超臨界状態の二酸化炭素の特性である有機溶媒類似の溶解能力・低粘性などを利用し、溶液または融液などとの混合液を噴射ノズルより大気圧下または真空下の微粒子回収槽に噴霧することにより、混合液を急速膨張させて極微滴化し乾燥します。また、短時間で発生した微滴中の溶質を低温で乾燥または凝固させ、小さなエネルギーで有機物及び無機物の均一なサブミクロン粒子を創製することができます。また、ユニット部品を追加すれば多機能型ろ過乾燥機としても使用できます。



知財総合支援窓口活用の概要（記：窓口担当者）

窓口活用のきっかけ

大阪府の紹介で、同社を訪問しました。当時の技術開発の責任者（技術本部長）から、「国際競争に打ち勝つためには、今後、知的財産権が重要になるので、その意識を高めるため、開発技術者全員に知財教育をお願いしたい。また、新製品を開発しているので、戦略的に特許出願したいので支援してほしい」との要望がありました。

最初の相談概要

同社の経営幹部と開発技術者を一同に集め、「モノづくり企業の知的財産戦略」と題した知的財産権セミナーや、職務発明制度に詳しい専門家（弁理士）により、平成 27 年特許法改正の新職務発明制度の説明会を開催しました。特許を受ける権利の使用者への帰属、「相当の利益」を決定するための協議・開示・意見聴取などについて説明し、多くの質問を頂き、意見交換致しました。

その後の相談概要

同社の新製品「超臨界スプレードライヤ」の開発にあたり、中小企業等特許情報分析活用事業にて、国内外の技術開発動向、他社特許分析、知財リスクについて支援しました。また、専門家（弁理士）を派遣して、日本特許出願、ＰＣＴ国際特許出願を支援しました。引き続き、平成 27 年法改正による新職務発明規程の整備を支援しています。

窓口を活用して変わったところ

同社の顧客は、繊維業界主体から化学・製薬業界へ、大量生産から高付加価値製品へ大きくシフトしており、急速に変化するニーズに合わせるため、次世代技術に対応できる人材が重要です。今回、社内の知的財産権に対する意識が高まり、社内の知財体制の整備が行われました。

また、新製品「超臨界スプレードライヤ」の開発においては、製品発表と同時に、高機能・高品質化に向けて数件の大手企業の要望を聞きながら、共同で性能向上に取り組まれています。

企業からのメッセージ

知財総合支援窓口では、知的財産権制度や新職務発明制度の詳細な説明や、中小企業等特許情報分析活用事業、外国出願補助金などの特許庁の中小企業支援事業の紹介など、丁寧に支援していただけます。また、弁理士など専門家派遣を通して、事業戦略と知財戦略を一体にした支援を受けることができますので、ご相談されることをお勧めします。

窓口担当者から一言　（氏名：大野　健造）



相談者は、遠心分離機のパイオニアです。新製品「超臨界スプレードライヤ」の特許出願について支援させて頂きました。医薬品分野、食品分野など幅広い事業分野への展開が期待されます。引き続き、特許発明が世界の舞台に展開されるように支援させて頂きます。